



株式会社〇〇様

「SDGsの概要と自社への適用セミナー」 —講義・演習でSDGsの理解を深め社内展開—



(株)パデセア



目次

- 持続可能な開発とISO14001
- 持続可能な開発への貢献を組織に促す背景
- SDGsの概要と特徴
- SDGsとTC207
- SDGsの国内の動き
- なぜ組織はSDGsに取り組むか
- 組織のSDGsへの取り組み
- SDGsとISO14001
- SDGsと中小企業
- 組織が持続可能性に貢献する目的
- 演習
- ※ 参考資料

持続可能な開発 (Sustainable Development)とは

The logo for the Sustainable Development Goals (SDGs) features the words "SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS" in a bold, blue, sans-serif font. The word "GOALS" is significantly larger than the others. The letter "O" in "GOALS" is replaced by a circular icon composed of 17 colored segments, each representing one of the 17 SDGs. The entire logo is set against a light blue circular background with a watercolor-like texture.

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

- 出典：環境と開発に関する世界委員会（通称：ブルトラント委員会）報告書「Our Common Future（我ら共有の未来）」（1987年）
- 定義：「将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発」
- リオ宣言「第3原則 開発の権利は、現在及び将来の世代の開発及び環境上の必要性を公平に充たすことができるよう行使されなければならない。」 世代間公平
- この概念は、環境と開発を互いに反するものではなく共存し得るものとしてとらえ、環境保全を考慮した節度ある開発が重要であるという考えに立つもの

世界が認識する重大リスクの変化

2008年



1位 資産価値の崩壊



2位 グローバル化の停滞



3位 中国経済の減速



3位 原油・ガス価格の高騰



4位 パンデミック

2019年



1位 異常気象



2位 気候変動対策の失敗



3位 自然災害



4位 サイバー攻撃



5位 生物多様性の喪失

SDGsの17目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsの17の目標は以下の通り。

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

出典:国際連合広報局 5



SDGsとは？

- 2016年～2030年までの国際社会共通の目標
 - 17の目標と、169のターゲット（目標ごとに設定）
 - 目指す未来は「誰一人取り残さない」貧困や格差のない社会という包摂性
 - 3年にわたり各国政府、大学、企業、組合等が作成
- 先進国を含むすべての国の課題を取り上げ
- 「ミレニアム開発目標（MDGs）」の後継
 - MDGsで達成できなかった課題（例：保健、教育）や新たに顕在化した課題（都市、気候変動、格差など）の改善を目指す
- 多くの関係者が連携・参画しての取組みが必要。特に、民間セクターの参加に期待。企業によるSDGsの取組みが活発化

SDGsに組織が取り組む意義

組織の考え

「当社は売上を伸ばし利益をあげながら(企業として持続しながら)、世の中に役に立っていると言いたい」

「当社は社会の課題解決に貢献していると言いたい」

社員の考え

「何のために働くのか、何のために会社に来るのか納得して仕事をしたい」

「社会に貢献している、社会に役立っているという実感を得たい」

SDGsに取り組むことで・・・

- 世の中に役に立っていることを社員が実感できる。
- 社会に貢献していることを社員が実感できれば社員のモラルアップ、モチベーションアップになる。
- 「当社製品サービスを通して社会に貢献する」ことの論理根拠が得られる。